

## 特色ある取り組み

本校は、「夢と希望を抱き、未来を拓く活力とたくましさにあふれる子どもの育成」（長期目標）「藤吉に愛着をもちながら成長する子どもの育成」（中期目標）に向け、各種育成部会を再編し、「仲間づくり」・「学びづくり」・「生活づくり」の三部会を通して、「相手とつながることができる子どもの育成」（本年度の重点目標）に取り組んでいます。

以下、三部会の取り組みについて紹介します。

### ○「仲間づくり」部会

「仲間づくり」部会では、子どもが「人(友達・先生・地域)とつながる」ことを目指します。そのために、教師は「仲間づくりプログラム」を仕組みます。

「仲間づくりプログラム」とは、各重点行事で子どもが設定した具体的な目標に向けて、カリキュラムマネジメントによって教育効果を高めた指導を行い、キャリアパスポートを活用してふり返しを実施することにより、子ども自身に自分の成長を実感させる取組です。学校全体で実施する重点行事の他、学年での行事でも「仲間プログラム」に取り組み、主体的に人とつながる子どもを育成していきます。

### ○「学びづくり」部会

「学びづくり」部会では、子どもが「学び(めあて・既習の学習内容・友達の考え)とつながる」ことを目指します。そのために教師は、学校全体で年間月目標を決めて、凡事徹底で取り組みます。また、主題研究とリンクさせて、各教科の見方・考え方を働かせた説明活動を学習の中核に据えて授業づくりを行います。

子どもたちは、各教科の見方・考え方を働かせて学習課題の解決に取り組み(ひとり学び)、友達とお互いの考えを教科の見方・考え方とつなげて説明し合う(対話)ことにより、学習への理解をより深め、主体的に学びとつながる子どもを育成していきます。

### ○「生活づくり」部会

「生活づくり」部会では、子どもが「自分とつながって、自己コントロールできる」ことを目指します。そのために学校全体で年間月目標を決めて、委員会活動と連動させて取り組みます。

特に、「自問清掃」は、掃除時間の始めに黙想をして「しんせつ玉・がまん玉・みつけ玉」の3つの視点の中から目標を自分で決めます。そして、目標を達成するために黙動で掃除をします。掃除時間の終わりには黙想を行い、決めた目標に対して自分でふり返しを行います。自己決定と自己対話を繰り返すことで自分自身を見つめる子どもを育成していきます。